

ATC コミュニケーションハンドブック(改訂版) 表現の一部見直しについて

■ 「ATC コミュニケーションハンドブック(改訂版)」(令和7年6月発行)について、以下のとおり表現の一部見直しを行いました。

ページ等	見直し後(令和7年9月)	現行(令和7年6月)
4ページ	2人のパイロットによって運航される航空機では、かつては操縦を担当していないパイロット(PM:Pilot Monitoring)が、 <u>主として</u> ATC コミュニケーションを担当していたため、管制指示を誤って受け取った場合、それが最後まで確認されずに滑走路誤進入につながる可能性があります。	2人のパイロットによって運航される航空機では、かつては操縦を担当していないパイロット(PM:Pilot Monitoring)が、ATC コミュニケーションを <u>単独で</u> 担当していたため、管制指示を誤って受け取った場合、それが最後まで確認されずに滑走路誤進入につながる可能性があります。
4ページ	また、割り込めないくらい交信が輻輳している時、 <u>忙しくて手順通りにループを実施できないということや</u> 、操縦を担当するパイロット(PF:Pilot Flying)と PM との適切でない権威勾配※の問題もあるでしょう。	また、「割り込めないくらい交信が輻輳している時に <u>手順通りにループを回せない</u> 」という遠慮や油断、操縦を担当するパイロット(PF:Pilot Flying)と PM との適切でない権威勾配※の問題もあるでしょう。
6ページ、 36ページ	<u>Thumbs-up</u>	<u>Thumb up</u>